

第 7 2 8 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 佐賀唐津道路（佐賀道路）〔佐賀県〕

…………… 佐賀県佐賀市

- ・佐賀県では、有明海沿岸道路（佐賀福富道路）と佐賀唐津道路（佐賀道路）が結節するエリアを「Tゾーン」と位置付け、広域道路ネットワークの要として整備を進めている。
- ・（仮称）佐賀ジャンクションを中心に両路線が接続することで、物流の効率化や企業立地の促進、九州佐賀国際空港・医療拠点へのアクセス向上、交通混雑の緩和を図るとともに、災害時の代替路・緊急輸送道路として防災・減災機能を強化し、地域経済の活性化と県土の持続的な発展に大きく寄与することが期待されている。



2 佐賀導水路（巨勢川調整池）堰堤改良事業〔九州地整〕

…………… 佐賀県佐賀市

- ・佐賀導水路は平成 21 年に完成した、洪水調節・内水被害の軽減排除、流水の正常な機能の維持及び水道用水の補給を目的とした施設。
- ・近年、特にポンプ施設の不具合が頻繁に発生していることから、出水時において安定的に施設機能が発揮できないおそれがあるため、施設の抜本的改良及び高度化等を実施し、信頼性・効率化等の向上を図り、併せて耐震化対策も実施している。
- ・老朽化したポンプ施設の機能アップ（メンテナンス性向上、分散化）や遠隔制御の二重化等を実施し、故障等によるポンプ停止リスクの最小化を図る。また、耐震化が必要な施設の耐震対策を実施。令和 6 年度に事業が採択され、令和 7 年度より東瀬系ポンプ場改良の工事に着手している。



3 吉野ヶ里歴史公園官民連携プロジェクト「スノーピーク グラウンズ吉野ヶ里」〔佐賀県〕

…………… 佐賀県吉野ヶ里町

- ・本事業は、佐賀県と株式会社スノーピークが中心となり、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して進めている。
- ・これまでの「見る歴史公園」から、来園者がより深く歴史や自然を「体感する歴史公園」へと価値を洗練させ、公園の利便性を向上させるとともに、地域と深く連携し、歴史公園を拠点とした新たな人の流れを生み出し、その効果が様々な形で地域全体に波及していくことを目指す。
- ・このプロジェクトにより、新たな体験型複合施設として、「スノーピーク グラウンズ 吉野ヶ里」が令和 8 年 3 月に開業、キャンプフィールドやコテージ、キャビンなどの宿泊施設の利用が令和 8 年 4 月に開始した。

